

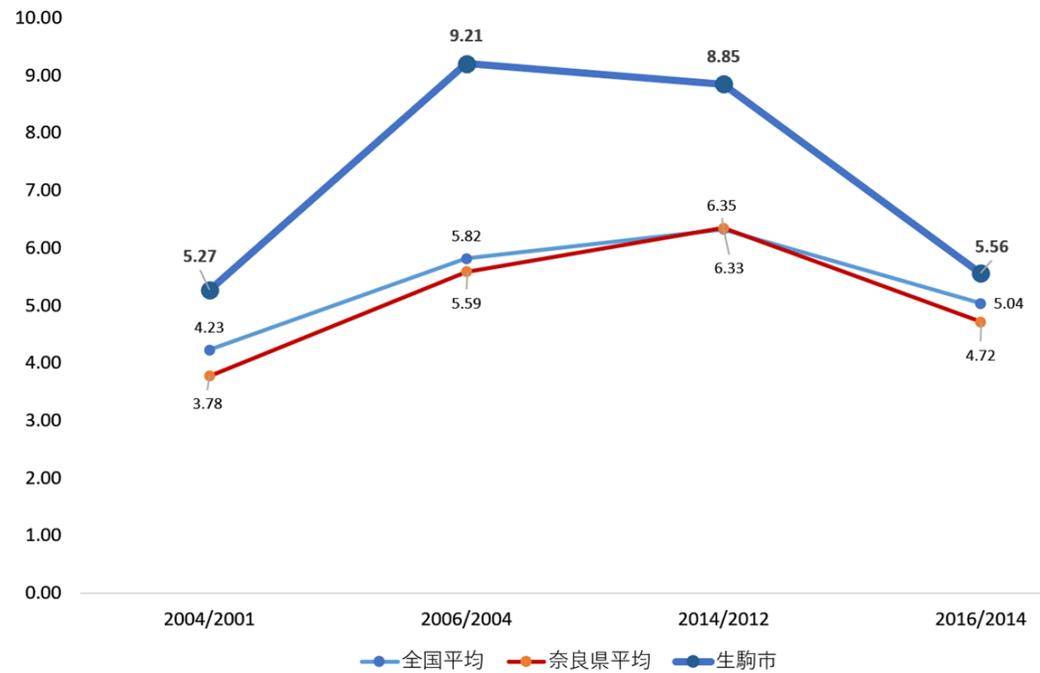
資料 6

第 1 回 L B 分科会において意見をうかがいたい点
生駒市における起業と副業の推進戦略戦略（第 2 回分科会で提示
予定）を策定するために

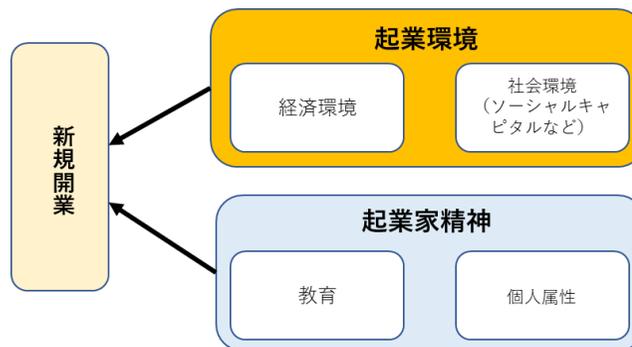
Q1：生駒市において起業・副業を増やすことの可能性についてどのように考えるか？

再掲

創業比率の推移（％）

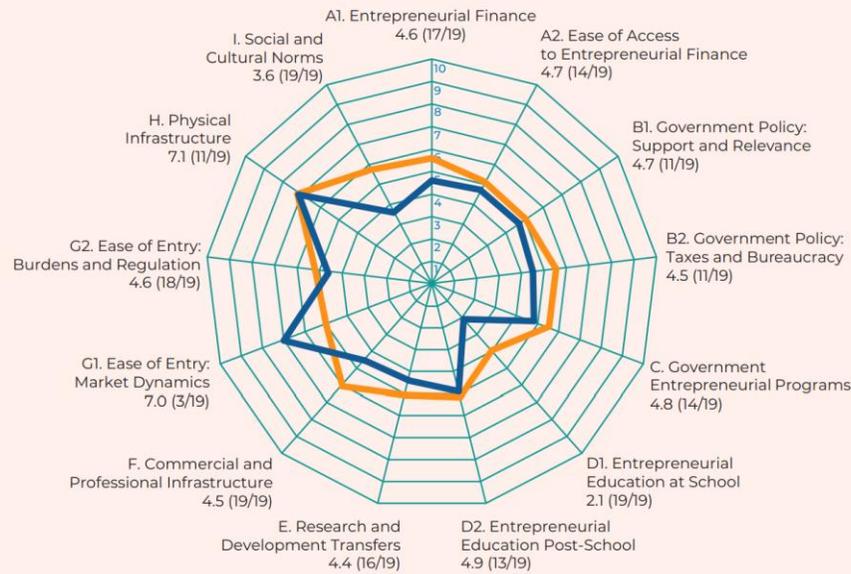


Q2：起業・副業を増やすために必要な環境（条件）についてどのように考えるか？



スタートアップの環境（Global Entrepreneurship Monitor、GEM）

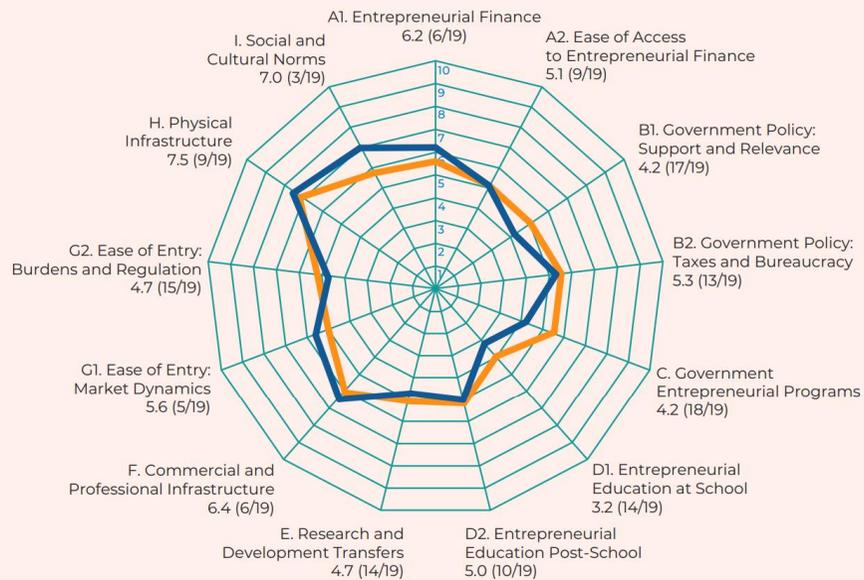
| 環境 | 内容 | 順位 |
|--------------------|---------------------------|-------|
| 起業のための資金 | 新たなスタートアップに十分な資金があるか？ | 18/22 |
| 起業のための資金へのアクセスの容易さ | 資金を調達することが容易か？ | 12/22 |
| 政府の政策：支援と関与 | 政府の政策はスタートアップを推進し支援しているか？ | 6/22 |
| 政府の政策：税制と官僚主義 | それとも新規事業に負担となっているか？ | 19/22 |
| 政府の起業家支援プログラム | 質の高い支援プログラムがあるか？ | 18/22 |
| 学校での起業家教育 | 学校は起業家のアイデアを導入しているか？ | 20/22 |
| 学校卒業後の起業家教育 | カレッジは起業に関するコースを提供しているか？ | 13/22 |
| 研究開発移転 | 研究は新しい事業に転換することができるか？ | 7/22 |
| 商業的・専門的インフラ | 手頃なサービスが十分にあるか？ | 20/22 |
| 参入の容易性：市場の活力 | 市場は自由でオープンで成長しているか？ | 4/22 |
| 参入の容易性：負担と規制 | 規制は参入を促進しているか制限しているか？ | 11/22 |
| 物的インフラ | てごろで十分に活用できるか？ | 7/22 |
| 社会的・文化的規範 | 起業家精神を奨励し、賞賛する文化があるか？ | 20/22 |



Level A
>\$40,000

- Canada
- Finland
- France
- Germany
- Ireland
- Israel
- Italy
- Japan
- Luxembourg
- Netherlands
- Norway
- Qatar
- Republic of Korea
- Saudi Arabia
- Sweden
- Switzerland
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- United States

EFCs scale:
0 = very inadequate
insufficient status,
10 = very adequate
sufficient status.
Rank out of 19
recorded in brackets



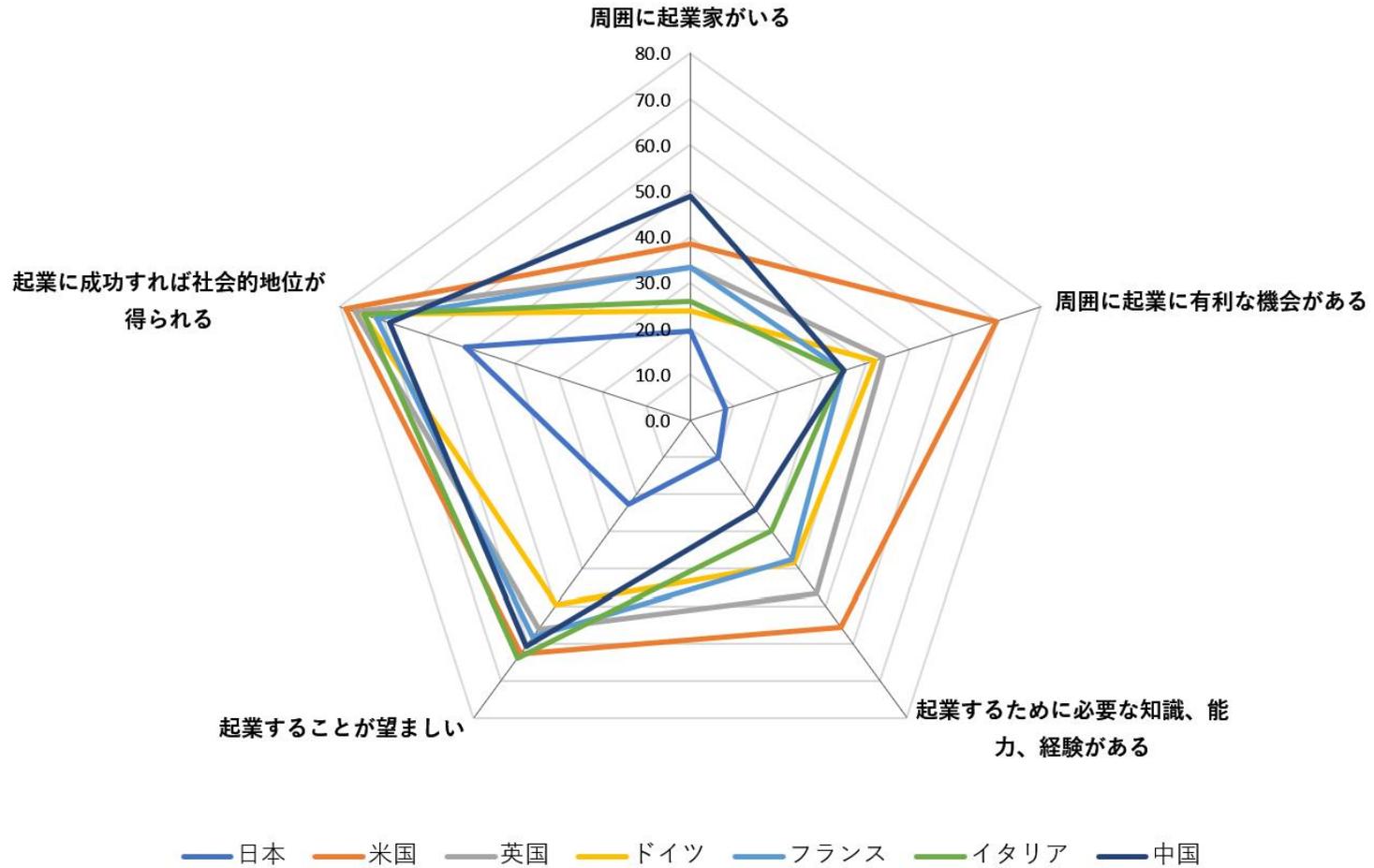
EFCs scale:
0 = very inadequate
insufficient status,
10 = very adequate
sufficient status.
Rank out of 19
recorded in brackets

Q3：起業・副業を増やすためには起業環境とともに、起業家精神が必要だといわれている。日本では十分に起業家精神が育っていないという現状がある中、起業家精神を育てるためにどのようなことを行うことが必要か？

GEM 指標に見る日本の起業家精神（2017、2022）

| 起業家精神指標 | 内容 | 順位 | 順位（2022） |
|----------------------|------------------------------------|-------|----------|
| 起業家精神の総合指数 | | 54/54 | |
| 起業家精神に関する自己認識 | | | |
| 機会認識率 | 居住する地域で起業する良い機会があると考える人の割合 | 54/54 | 49/49 |
| | 新規事業を立ち上げた人を知っている | | 49/49 |
| | ビジネスを始めるのは簡単だ | | 44/49 |
| | 3年以内に起業する意向のある人の割合 | 54/54 | 48/49 |
| 能力を知覚している率 | 起業に必要なスキルや知識を持っていると考える | 54/54 | 49/49 |
| 失敗を恐れる割合 | 失敗を恐れて起業を思いとどまると回答した人の割合 | 18/54 | 10/49 |
| 動機指数 | 事業機会型 / 生計確立型の比率 | 16/54 | |
| ジェンダー平等度 | | | |
| 女性TEA比率 | 女性／男性TEA比率 | 50/54 | |
| 女性／男性の機会主導型TEA比率 | 自立・収入増等が動機の女性TEAの割合/同じ動機の男性TEAの割合 | 11/54 | |
| 起業への社会的評価 | | | |
| 成功した起業家への高い地位率 | 成功した起業家は高い地位を得ていると考える人の割合 | 48/54 | |
| 起業は良いキャリア選択である率 | 「ほとんどの人が起業を望ましい職業選択と考えている」と考える人の割合 | 51/54 | |

起業意識の国際比較



資料：みずほ情報総研株式会社「平成30年創業・起業支援事業（起業家精神に関する調査）」

Q4：起業・副業を推進するためには支援が必要だと考えられる。とくに生駒市が行える支援としてどのようなものが考えられるか？

企業活動の現状

日本の起業活動は諸外国と比べて低い水準で推移
起業希望者などの潜在的な起業家も減少

背景

諸外国に比べて、起業に必要な外部環境や条件が整っていない
起業に対する前向きなイメージが低い

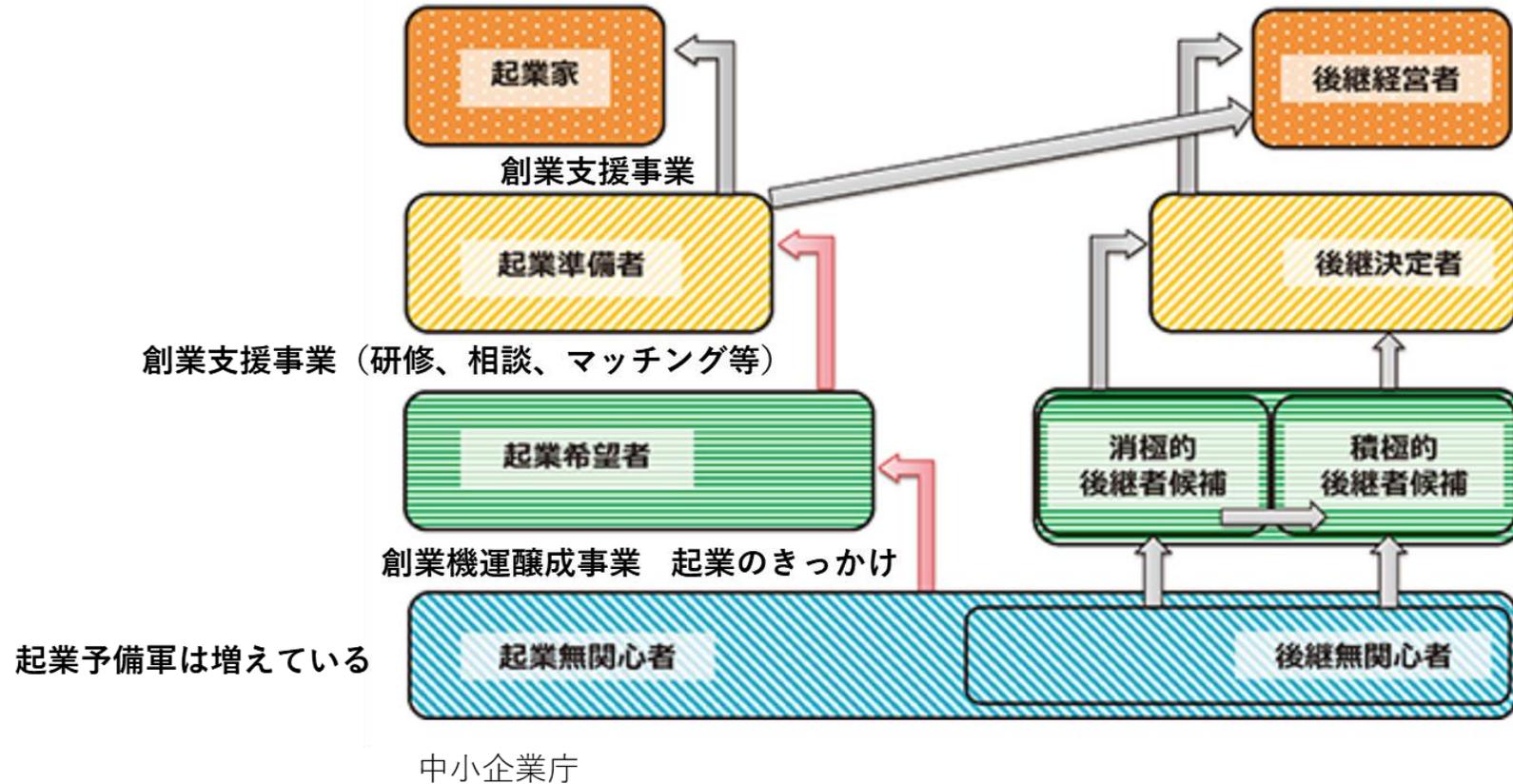
企業の新規開業は、競争やイノベーションを促進して雇用創出や経済成長につながることから、起業家や潜在的な起業家を増加させる取組が重要

大企業人材等が起業や兼業・副業といった新たな活躍の場を得るための支援策

中小企業庁では、令和元年度補正予算において、都市圏に所在する大企業において知識・スキル・経験を蓄積した意欲ある人材を、起業・兼業・副業といった手法により人手不足に苦しむ地方の経営者や、中小企業・ベンチャー企業を支える人材として流動化させ、地方経済における新たな人材獲得手段として定着させることを目的としたモデル事業を実施する。

大企業等の中堅人材の中には、地方創生や社会貢献への意欲が高い潜在的起業家層が存在する。そうした人材が外部で活躍するためには、その知識・スキル・経験を、起業家として、あるいは中小・ベンチャー企業で求められる水準に向上・アジャストする必要がある。本事業では、人材支援機関と意欲の高い中堅人材を抱える企業が連携して、知識・スキルの向上・アップデートを支援する取組に対して補助を行う。また、中堅人材を抱える他の企業に対しても同様の取組を後押しするため、モデル事業を通じて創出された優良事例を分析し、広く社会に普及させることを目指している。

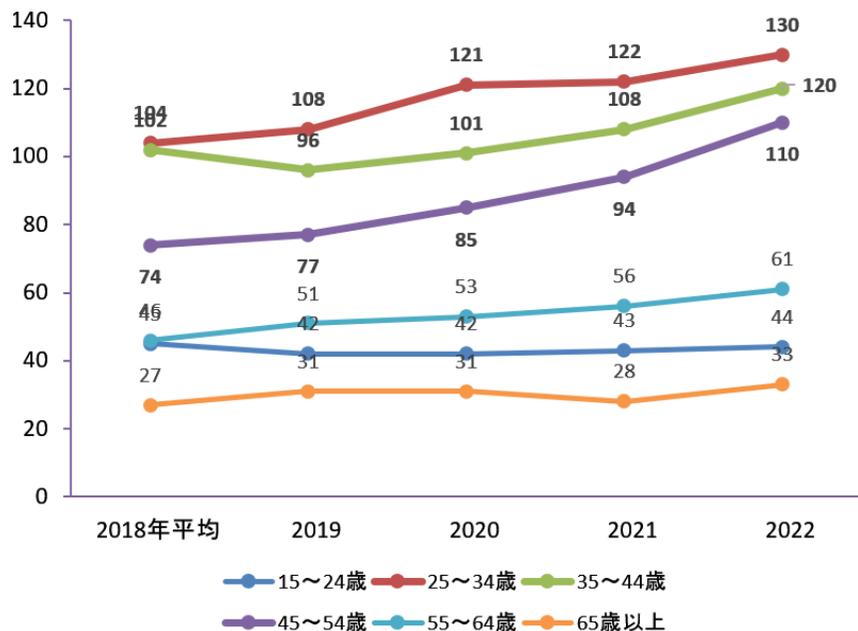
スタートアップを促進するために、生駒市商工観光ビジョンにおいて重視すべきステージは？
スタートアップを促進するための施策としてどのようなものが考えられるか？



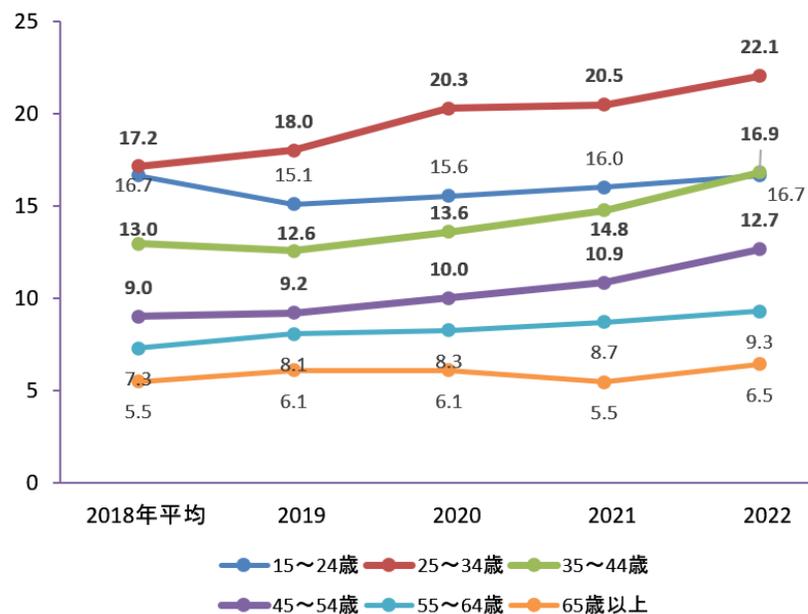
転職希望者が増えている：スタートアップ予備軍になりうるか？

起業につながるかどうかは不明だが、起業予備軍は増加している可能性あり
起業に結びつけるために、どのような環境が必要か？

転職希望者数(男性)(万人)

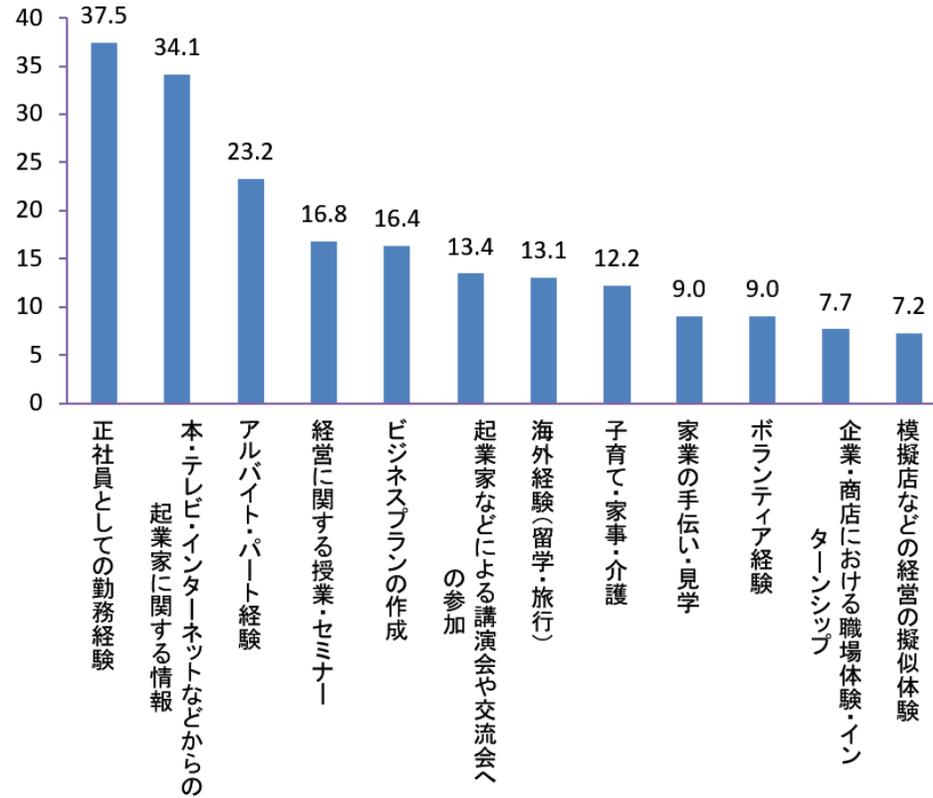


転職希望者率(男性)(%)



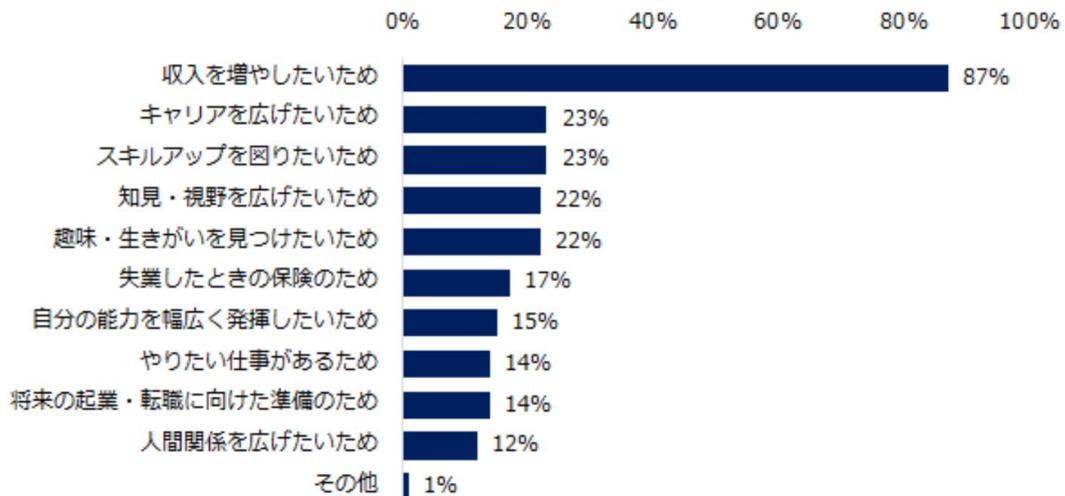
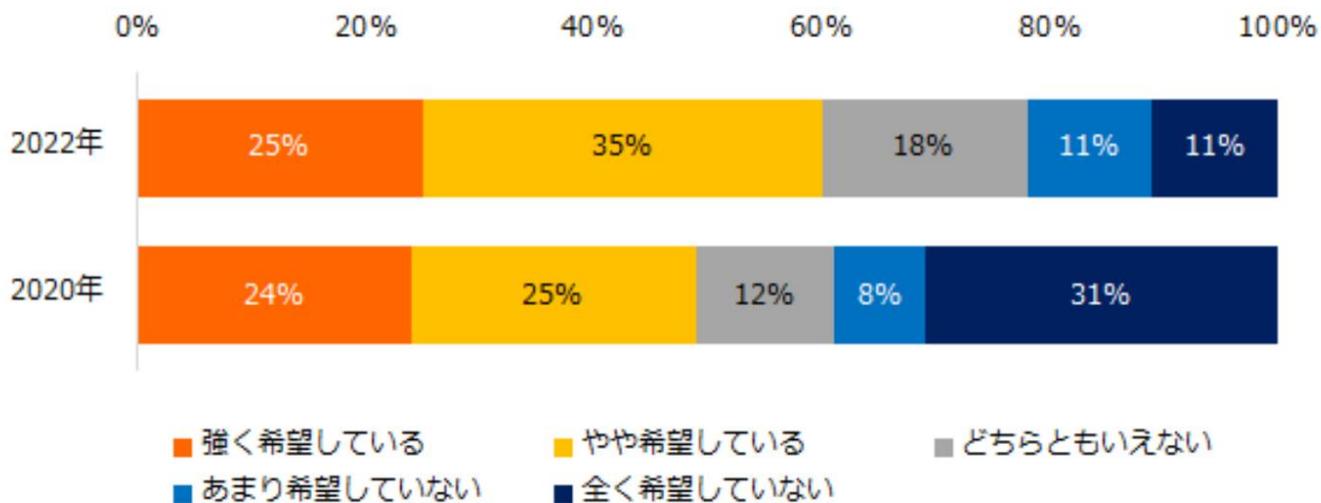
起業準備者・起業希望者にとって起業の動機付けとなった経験

経験したことがあり、動機付けになった(%)



出所：中小企業庁

コロナ後、副業希望者は増加している 副業を希望する理由は「収入増」が圧倒的



エン・ジャパン調査

所得の高い生駒市民にも副業希望者増」は波及するか？